



### 答えて市長！一般質問

前ページからの続き

#### 中学の部活動における外部指導者の活用について

濱田 美弥

問 吉川市内での活用の実態を伺う。

答 教育部長 県のエキスパート事業を活用し、南中3名中央中2名に依頼をしている。今後とも部活動も教育の一環として支援していく。

#### ワンダーランドの活用について

問 職員の勤務形態について伺う。

答 こども福祉部長 水く土は館長を含む4名が勤務、日く火は職員が2名、イベント時等には臨時職員が入り勤務している。  
問 市内4年生の月や星の単円で活用してはどうか。  
答 こども福祉部長 5月の校長会にて美南、吉川小で実施決定。他校でも今年度中に実施の予定。



ワンダーランドのプラネタリウム

#### 学校図書室について

問 バーコード化による貸出時間短縮やデータ抽出の簡易化などゆきゆきは中央公民館図書室、市内中学校などと共通化し本好きな子どもを増やしては。  
答 教育部長 現在導入は考えていない。

#### 高齢者、若年単身者への住宅支援を

遠藤 義法

問 政府は高齢者や若年者の住宅確保・財政支援など住宅セーフティネット法を策定した。法の趣旨を受けて吉川市内の住宅困窮者や空き家の実態、現状と今後の課題、対応は。  
答 都市整備部長 市内で倒壊や老朽化などで問題がある空き家は40軒、平成25年の住宅土地統計調査では賃貸、売却用などの空き家が1840戸である。今後、空き家の有効活用など他市の事例等を参考にすすめる。

#### 吉川美南駅東口周辺開発地へ医療ビルの設置を

問 吉川美南駅東口周辺整備地に各診療科目が入所する医療ビルを政策的に位置付け、実施を。  
答 都市整備部長 平成31年度にかけ企業誘致活動を進める。このなかで医療施設も含めた幅広い立地を図っていく。

#### 吉川駅北口の混雑解消策は

問 吉川駅北口ロータリー内やいちよう通りの混雑解消策は。  
答 政策室長 ローターリーや周辺道路の交通実態調査を行い、混雑緩和に向け調査研究する。

#### BCP(業務継続計画)の進捗状況はどうなっているか

吉川 敏幸

問 BCPの進捗状況は。また、大規模災害時、市の人材、資機材で対応は可能なのか。  
答 市民生活部長 昨年9月にBCP簡略版を、今年の3月末に地震発生時におけるBCP(1ヶ月間対象)を策定した。また、市の資機材では対応できない。自助の考え方を広めることが重要であると考えている。

#### 高齢化社会の中、指定避難所に空調設備の設置を

問 国は指定避難所に空調設備やWiFiの設置を緊急防災・減災対策事業債の対象にした。指定避難所に空調設備の設置を。  
答 市民生活部長 空調設備は重要であると考えている。今後、多様な手段で調達できるように研究していく。

#### 保育士確保に全力を

問 待機児童問題解消のため、今後、保育量は増大するが、保

育士確保について、具体策は。  
答 こども福祉部長 保育士の確保等に関する協定を川村学園女子大学と締結した。この協定に基づき、支援していく。

#### 待たれる地域公共交通の充実

小林 昭子

問 昨年12月議会で「みんなが豊かに暮らすために気軽に利用できる地域公共交通の確立を求める」請願が議会で採択された。今後の取りくみと考え方は。  
答 政策室長 ①タクシーチケット方式で②年齢を75歳以上とし③旭・三輪野江地区を中心に移動手段をもたない方を想定④今年中に試行したいので9月議会に補正予算に計上予定です。請願の趣旨を重く受け止め、重ねて検討する中で、今回の案を考えました。まず大きな目標として、出来るだけ早期に試行を開始したいと考えています。

#### 新きぼり水質改善の取り組み

問 市の責任ある対応を。  
答 市民生活部長 県は事業所に改善計画書の提出と、9月6日までに改善する事を勧告した。  
答 市長 三輪野江全体にも非常に大きな問題と認識しています。

#### 市平和事業の更なる充実を

答 市民生活部長 様々な世代が集い平和の尊さと戦争の悲惨さを考えられる一助となるよう考

#### 災害に強いまちづくりについて

稲葉 剛治

問 須賀、榎戸地区の治水対策の早急な対応を。  
答 都市整備部長 須賀、榎戸地区の冠水策としては、市道1-382号線の排水機能向上の為に新たにボックスカルバートの布設を計画し、工事発注の準備を進めている。

#### 中原市長の吉川市議会に対する基本的な理念と対応

齋藤 詔治

問 中原市長が吉川市のリーダーになり二年、積極的に多くの課題に取り組む市制二〇周年事業等市のアピールに努めました。市議会議員も市民の代弁者として積極的に取り組んで参っています。市長は市民のリーダーです。民主主義社会のリーダーとして、市議会への基本的な対応と、今後の市政への展望を伺います。多くの計画が予定されています。市長は事の発端を見失わず、無理を重ねないで進めて行く事、要望し質問いたします。

答 市長 昨年二〇周年の一年、先人が積み重ねて来た歴史に、多くの市民からの共動がありました。一番力を入れたのは市民との意見交換です。私の最大のテーマは市民の幸福度の向上です。全ての分野に力を尽くして参ります。市議会への基本理念は、市民と政治と行政の三位一体が私の市政運営です。

時代は流されず、未来に繋がるそうした決断をしっかりと行きます。

